

# NZのすごいところ!

☆規模 1000頭, 2000頭 当たり前!  
 3月だけ多くの頭数を管理できているワケは...  
 ICチップが内臓された耳標 にあり!  
 位置情報はもちろん, 牛の投薬履歴や給餌量, 乳量, 体重  
 まで個別別に管理され, アプリを使ってスマホで簡単に見られる。



☆女性の活躍 仔牛肥育農家や酪農家, 農業経営コンサルタントなど  
 様々な形で女性の活躍を実感。このような活躍により  
 男性からは, 「農業において女性が必要不可欠」とまで!  
 また, 女性自身が自分の仕事に対して誇りを持っていて  
 とってもカッコ良かった。  
 自信を持つこと, 力強くあることの大事さを学んだ。

# 日本の畜産業は...?

- 人不足 従事者の高齢化による後継者不足。  
産業動物獣医師の不足。  
マイナスイメージが高まり人気がない。
- 魅力発信 まだまだ魅力が届いていない。17歳の子から中高生全ての年代の人に食を気にかけて欲しい。
- 女性や若者の活躍 NZと比較すると, 女性や若者の活躍は少ない。  
女性だと畜産をやるのが日本では難しくみえてしまう。  
ex) 産休・育休に対する周囲のサポート, 畜産を始める時の周囲の反応

## 理想的な畜産業にするために

- ① 人不足 について
  - ・コミュニティの充実 ⚠️ 気軽に参加できるものに。
  - ・高齢者と若者をうまく循環させる制度
  - ・進路を考え始める中, 高生に興味を持ってもらうきっかけを作る (授業, イベント, 見学会 ほか...?)
  - ・女性や若者が活躍している業界だと知ってもらえば, 若い世代の人にも興味を持ちやすくなるはず!
- ② 魅力発信 について
  - ・17歳でも多くの人に牛などを可愛いと思ってほしい  
↓そこから,  
食について, 畜産について考えよう事ができるかも...
  - ・「美味しい」「可愛い」などのマイナスイメージから,  
「楽しい」「やりがいのある仕事」といったプラスイメージへ!

- ③ 女性や若者の活躍 について
  - ・TV や SNS を有効活用してたくさんの人に活躍ぶりを知ってもらう
  - ・子育てしながらも働ける環境をつくる



## Message

この研修を通して, 改めて「畜産っていいよ  
 がんばらなきゃだろ!」と思いました。現地の  
 農家の方々は, どれも活き活きしていて自分  
 達の仕事に誇りを持っていら. せることが伝わ  
 てきました。今, 畜産に興味を持っている方.  
 畜産に携わる帯を持っている方, 胸を張って  
 そのまま持っている下さい! 「やっば人が17歳  
 から...」とか「男性の方がいいじゃん...」なんて  
 思ってしまうかもしませんが, そんなことは  
 ありません!! 前例がなくともどんどん  
 新しいことに挑戦すべきです! NZで出会った  
 方々をみて私が言うことはこのくらいですが...  
 共に胸を張って畜産の魅力を発信しましょう!!  
 畜産アンバサダーのみんな! 本当に出会えて良かった!  
 感謝の気持ちで一杯です。みんなが夢に向かって  
 頑張っていると思うと, これから先くじけそうになっ  
 て頑張れそうです! 大人になっても再会しようじ  
 畜産アンバサダー最高!!